

令和5年2月17日

交通事故概況

令和5年1月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況（1月末計上数（確定数））

1 令和5年1月末の交通事故発生状況

区分\内容	1月末	前年比
発生件数（件）	768	19
死者数（人）	13	6
傷者数（人）	913	30

[過去10年、1月末及び年間死者の推移]

区分\年別	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	過去平均		R5年
											10か年	5か年	
1月中死者	8	9	8	9	6	17	5	7	8	7	8	9	13
年間死者	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	151	134	—

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	千葉県	大阪府	北海道	茨城県	神奈川県
死者数	15	14	13	12	11

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 1月末の死亡事故(死者13人)

○ 事故類型別:

- ・出会い頭が6人46.2%(一時停止が4人66.7%、信号無視が2人33.3%)
- ・車両単独が3人23.1%(前方不注意が3人100.0%)

○ 道路別:

- ・道道が10人76.9%(うち一時不停止、前方不注意が各々3人30.0%、信号無視が2人20.0%)
- ・国道が2人15.4%(一時不停止、安全速度が各々1人50.0%)

○ 地形・道路形状別:

- ・市街地交差点が6人46.2%(出会い頭が3人50.0%、車両単独が2人33.3%、人対車両が1人16.7%)
- ・非市街地交差点が3人23.1%(出会い頭が3人100.0%)
- ・非市街地直線が3人23.1%(人対車両、正面衝突、車両単独が各々1人33.3%)

○ 発生時間別:

- ・18～20時が5人38.5%(車両単独が2人40.0%、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々1人20.0%)
- ・12～14時が3人23.1%(出会い頭が3人100.0%)

○ 第一当事者年齢別:

- ・40歳代運転者による死者が7人53.8%(出会い頭が4人57.1%、人対車両が2人28.6%、正面衝突が1人14.3%)
- ・高齢運転者による死者が4人30.8%(車両単独が3人75.0%、出会い頭が1人25.0%)

○ 第一当事者違反別:

- ・一時不停止が4人30.8%(出会い頭が4人100.0%)
- ・前方不注意が3人23.1%車両単独が3人100.0%)

○ 死者年齢別:

- ・高齢者の死者が4人30.8%(車両単独が2人50.0%、正面衝突、出会い頭が各々1人25.0%)
- ・30歳代の死者が2人15.4%(出会い頭、車両単独が各々1人50.0%)
- ・40歳代の死者が2人15.4%(出会い頭が2人100.0%)
- ・50歳代の死者が2人15.4%(人対車両、出会い頭が各々1人50.0%)

○ シートベルト非着用者:

自動車乗車中の死者11人中、シートベルト非着用者は2人(18.2%)であり、この者はシートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

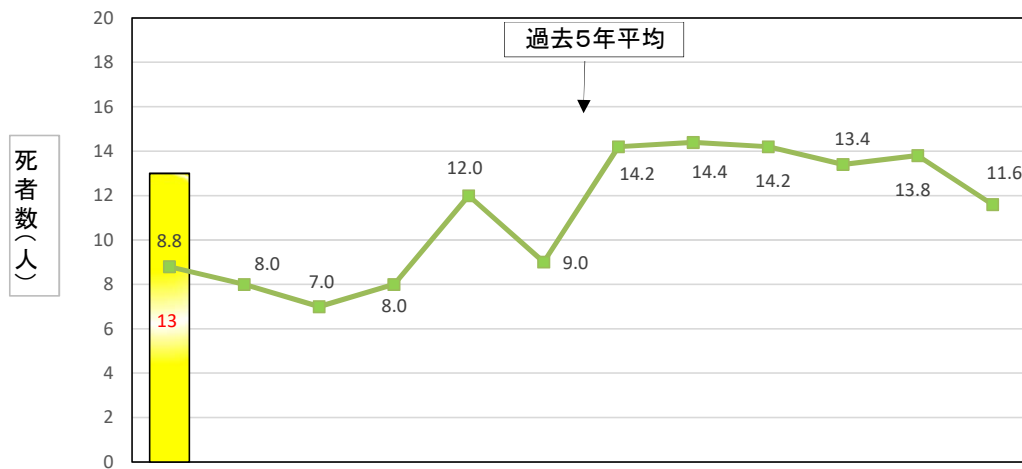
(2) 方面別発生状況

1月末の死者は札幌方面が9人(69.2%)、旭川方面が3人(23.1%)で釧路方面が1人(7.7%)となっている。

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
1 月 末	全 道	768	19	13	6	913	30
	札幌方面	568	8	9	6	677	21
	函館方面	43	1		-1	49	-4
	旭川方面	59	-8	3		69	-17
	釧路方面	75	20	1	1	83	25
	北見方面	23	-2			35	5

(3) 月別発生状況の推移

1月末の死者は13人で過去5年平均8.8人を上回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和5年	13												13
年間累計	13												
過去5年平均	8.8	8.0	7.0	8.0	12.0	9.0	14.2	14.4	14.2	13.4	13.8	11.6	134.4
累計平均	8.8	16.8	23.8	31.8	43.8	52.8	67.0	81.4	95.6	109.0	122.8	134.4	

(4) 都道府県別死者

1月末は千葉県が15人で最も多く、次いで大阪府が14人、北海道が13人、茨城県12人、神奈川県11人となり、多くの道府県で増加の傾向を示している。

区分\都道府県	千葉	大阪	北海道	茨城	神奈川	福岡	埼玉	三重	兵庫	東京	全国
1月末死者数	15	14	13	12	11	9	9	9	9	9	217
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	6	6	6	6	-
前年比	6	9	6	5	-2	5	2	2	2	-1	34
増減率(%)	66.7	180.0	85.7	71.4	-15.4	125.0	28.6	28.6	28.6	-10.0	18.6

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

道道が10人(76.9%)で最も多く、次いで国道が2人(15.4%)となっている。

- ・ 道道は市街地交差点で5人(50.0%)、非市街地交差点、直線で各々2人(20.0%)
- ・ 国道は非市街地交差点、直線で各々1人(50.0%)となっている。

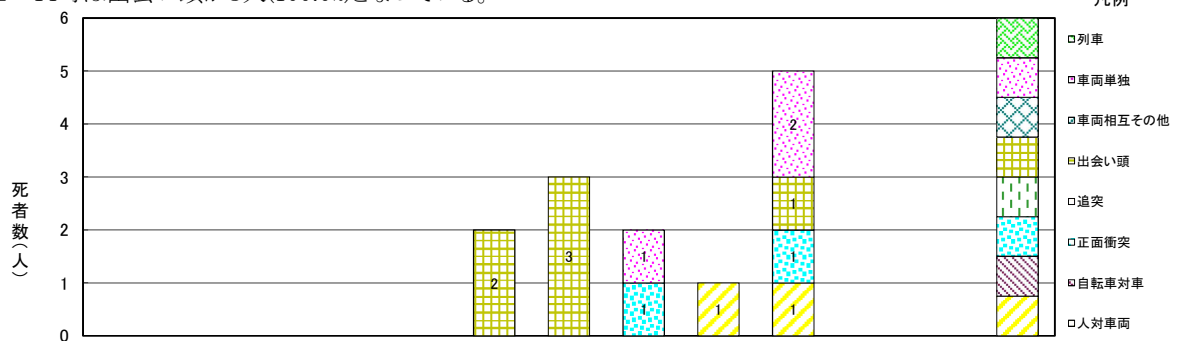


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	2	10	1			13
構成率(%)	15.4	76.9	7.7			100.0
過去5年構成率	42.5	35.0	17.5	2.5	2.5	100.0

(2) 時間別

18~20時が5人(38.5%)で最も多く、次いで12~14時が3人(23.1%)となっている。

- ・ 18~20時は車両単独が2人(40.0%)、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々1人(20.0%)
- ・ 12~14時は出会い頭が3人(100.0%)となっている。

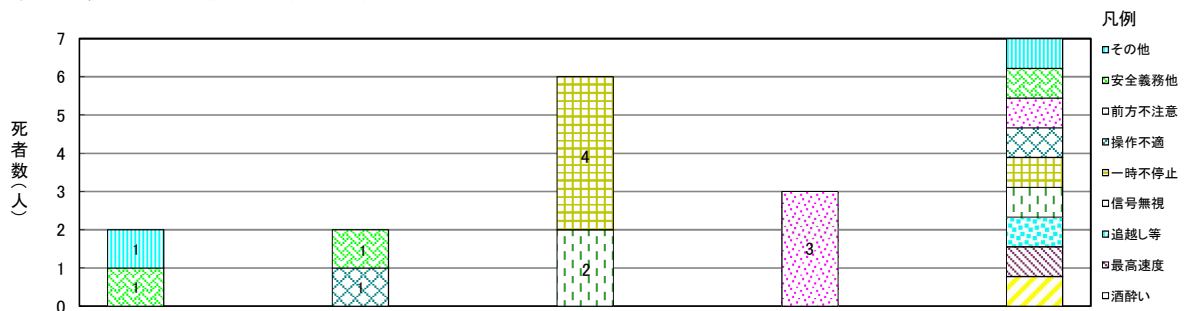


区分\時間別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
死者数						2	3	2	1	5			13
構成率(%)						15.4	23.1	15.4	7.7	38.5			100.0
過去5年構成率	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	20.0	17.5	17.5	12.5	17.5	2.5	0.0	100.0

(3) 事故類型別

出会い頭が6人(46.2%)、車両単独が3人(23.1%)となっている。

- ・ 出会い頭は、一時不停止が4人(66.7%)、信号無視が2人(33.3%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が3人(100.0%)

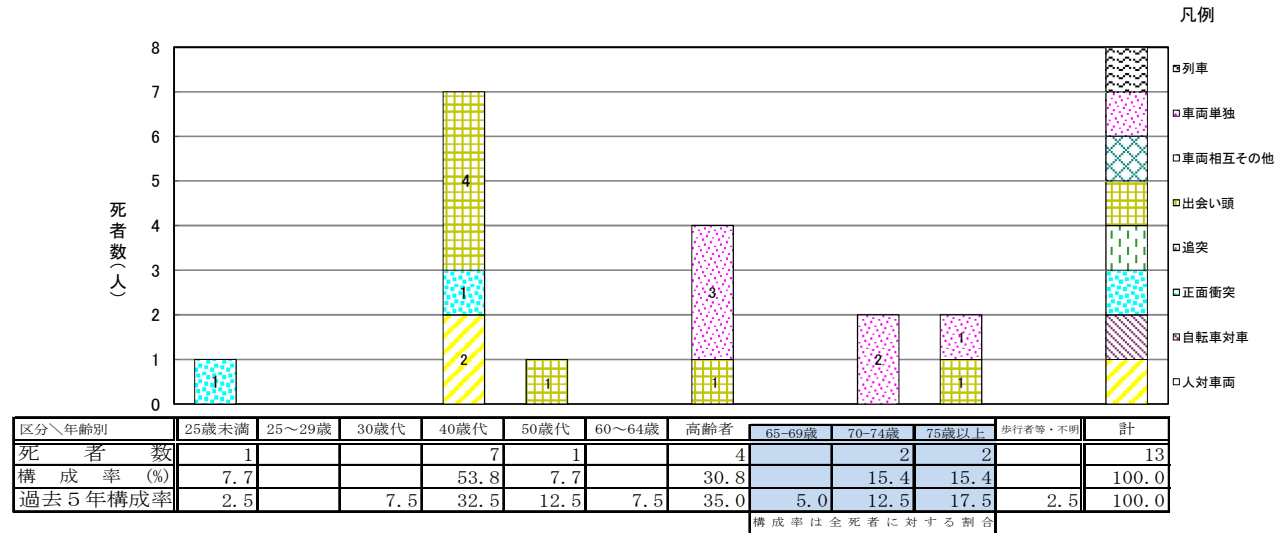


区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	2		2		6		3		13
構成率(%)	15.4		15.4		46.2		23.1		100.0
過去5年構成率	22.5	0.0	25.0	0.0	17.5	7.5	27.5	0.0	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別

40歳代の運転者によるものが7人(53.8%)、高齢者の運転者が4人(30.8%)となっている。

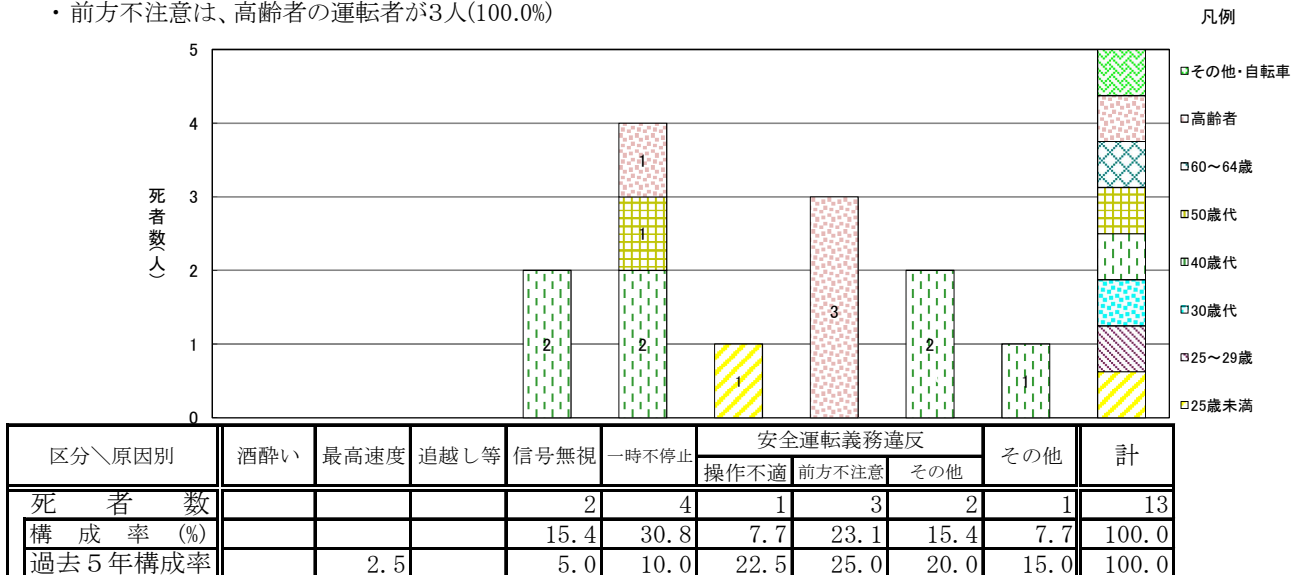
- ・40歳代運転者は、出会い頭が4人(57.1%)、人対車両が2人(28.6%)
- ・高齢者の運転者は、車両単独が3人(75.0%)、出会い頭が1人(25.0%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

一時不停止によるものが4人(30.8%)、前方不注意によるものが3人(23.1%)

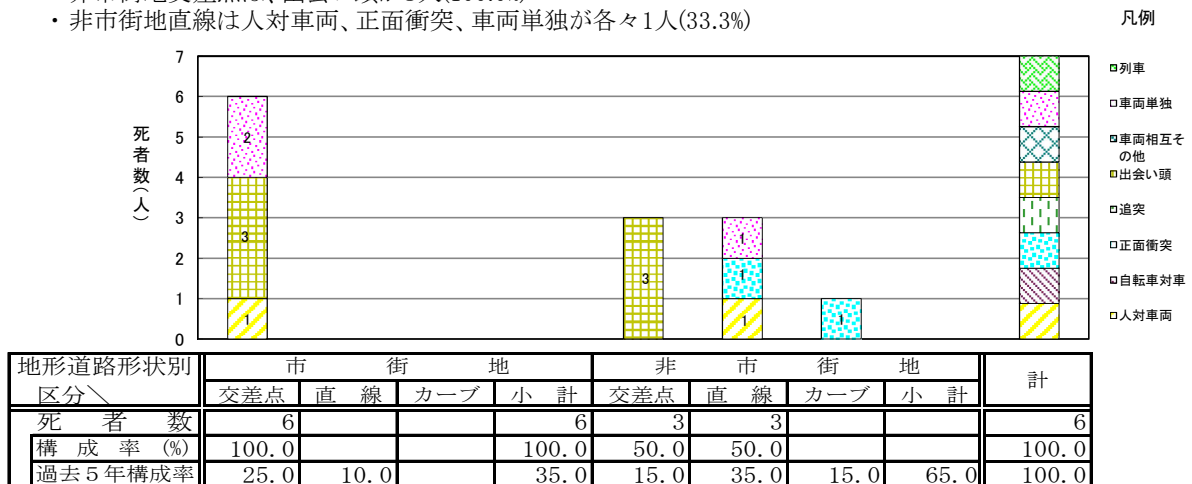
- ・一時不停止は、40歳代運転者が2人(50.0%)、50歳代運転者、高齢者の運転者が各々1人(25.0%)
- ・前方不注意は、高齢者の運転者が3人(100.0%)



(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が6人(46.2%)で、非市街地交差点、直線が各々3人(23.1%)。

- ・市街地交差点は、出会い頭が3人(50.0%)、車両単独が2人(33.3%)
- ・非市街地交差点は、出会い頭が3人(100.0%)
- ・非市街地直線は人対車両、正面衝突、車両単独が各々1人(33.3%)

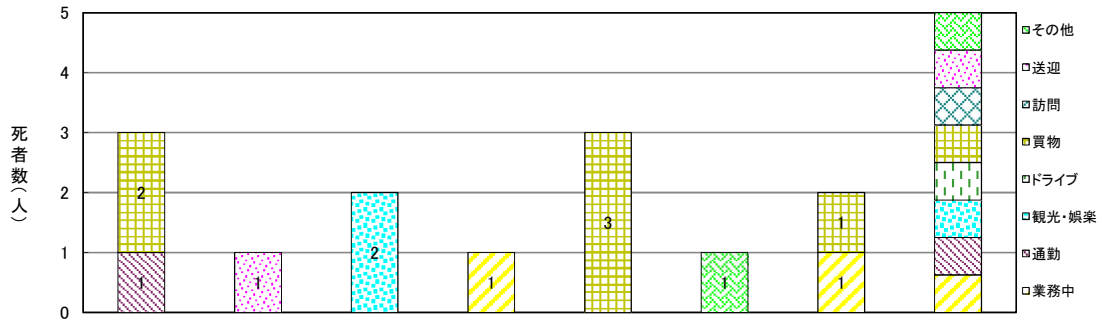


(7) 曜日別

日曜日と木曜日が各々3人(23.1%)

- ・ 日曜日は、買い物が2人(66.7%)、通勤が1人(33.3%)
- ・ 木曜日は買い物が3人(100.0%)

凡例



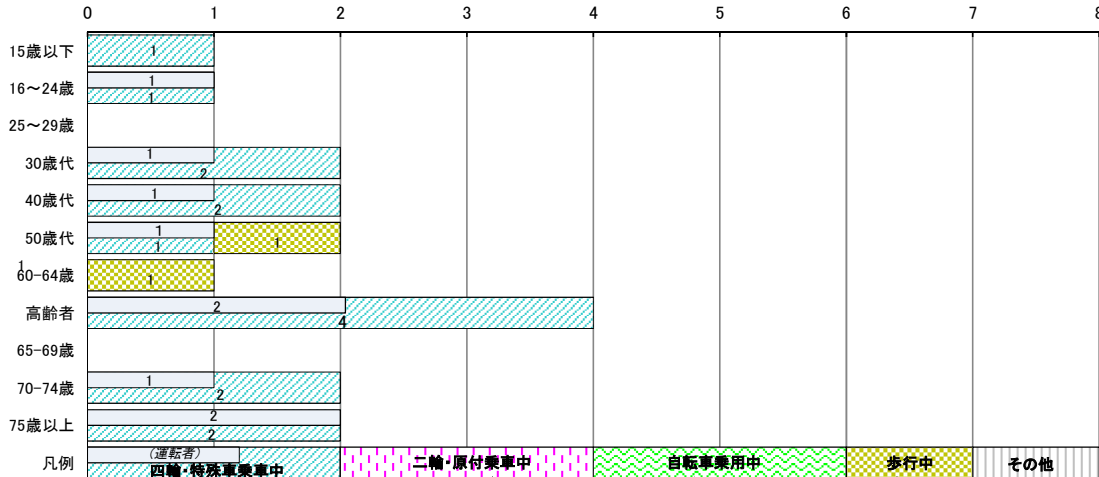
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	3	1	2	1	3	1	2	13
構成率(%)	23.1	7.7	15.4	7.7	23.1	7.7	15.4	100.0
過去5年構成率	10.0	7.5	17.5	10.0	22.5	20.0	12.5	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が11人(84.6%)で最も多く、歩行中が2人(15.4%)となっている。

- ・ 四輪乗車中は、高齢者が4人(30.8%)、30歳代と40歳代が各々2人(15.4%)
- ・ 歩行中は50歳代と60～64歳が各々1人(50.0%)
- ・ 年齢層別では、高齢者が4人(30.8%)で、うち75歳以上が2人(50.0%)となっている。

死者数(人)



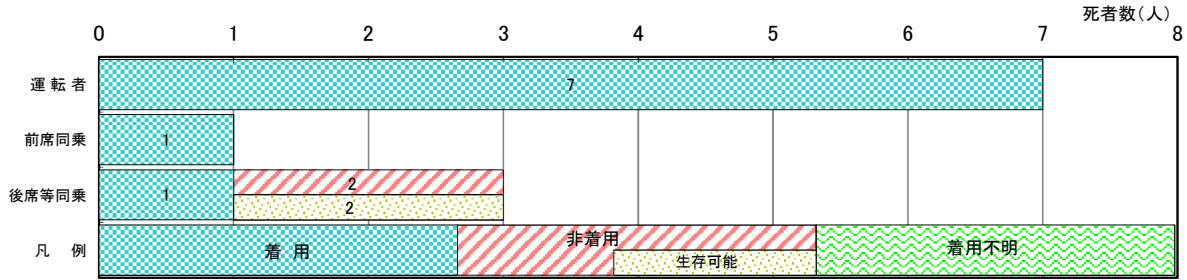
状態別 年齢層別		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (原付を含む)	自転 車乗 用中	歩行中	その他	計	構成率	
								構成率	5年構成率
15歳以下	死者数	1	0	0	0	0	1	7.7	2.5
16～24歳	死者数	1	0	0	0	0	1	7.7	2.5
25～29歳	死者数	0	0	0	0	0	0		
30歳代	死者数	2	0	0	0	0	2	15.4	10.0
40歳代	死者数	2	0	0	0	0	2	15.4	10.0
50歳代	死者数	1	0	0	1	0	2	15.4	15.0
60～64歳	死者数	0	0	0	1	0	1	7.7	7.5
高齢者	死者数	4	0	0	0	0	4	30.8	52.5
65～69歳	死者数	0	0	0	0	0	0		10.0
70～74歳	死者数	2	0	0	0	0	2	15.4	12.5
75歳以上	死者数	2	0	0	0	0	2	15.4	30.0
計	死者数	11	0	0	2	0	13	100.0	
	構成率	84.6			15.4		100.0	—	—
	過去5年構成率	72.5			22.5	5.0	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者11人中、シートベルト非着用者は2人(18.2%)となっている。
非着用者2人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪 乗車中 等	着 用			非 着 用			着 用 不 明	
		計	運 転 者	同 乗 者 助 手 席	後 部 席	計	運 転 者 生 存 可		同 乗 者 (助 手 席) 生 存 可
令和4年	11	9	7	1	1	2		2	2
構成率(%)	100.0	81.8	77.8	11.1	11.1	18.2		100.0	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、30歳代と40歳代が各々1人(50.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	高齢者の内訳			その他・不明	計
								65~69歳	70~74歳	75歳以上		
ベルト着用	2		1	1	1		4		2	2		9
構成率(%)	22.2		11.1	11.1	11.1		44.4		22.2	22.2		100.0
ベルト非着用			1	1								2
構成率(%)			50.0	50.0								100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者2人の人身損傷加害部位をみると、「座席」、「車内他」となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ベルト着用			3	1			1		1	3		9
構成率(%)			33.3	11.1			11.1		11.1	33.3		100.0
ベルト非着用									1	1		2
構成率(%)									50.0	50.0		100.0
運転者												
構成率(%)												
同乗者									1	1		2
構成率(%)									50.0	50.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和3年度及び4年度(ここでは令和3年11月~令和5年1月)の発生は次のとおり。

年度区分		死 者 数					計
		11月	12月	1月	2月	3月	
令和4年度	死亡事故	13	6	13			32
	冬型事故		4	3			7
	スリップ		4	1			5
	視界不良			2			2
	わだち						
	その他						
令和3年度	死亡事故	15	10	7	8	2	42
	冬型事故	1	6	4	1	1	13
	スリップ	1	5	4			11
	視界不良				1		1
	わだち		1				1
	その他						